

作業環境測定の指標となる参考値について

物質	許容濃度等			がん原性試験		作業環境測定(参考)		
	①			②	③	定量下限	捕集法	分析法 検出器
	ACGIH-TWA	日本産業衛生学会許容濃度	構造類似物質	生涯過剰発がんレベル(10 ⁻³)に対応する生涯ばく露濃度	生涯過剰発がんレベル(10 ⁻⁴)に対応する生涯ばく露濃度			
①塩化アリル	1 ppm (2005)	なし	—	0.56 ppm	0.056 ppm	1.6 ppm (10L捕集)	活性炭管	溶媒脱着 ガスクロマトグラフ 水素炎イオン検出器 (FID)
②オルトフェニレンジアミン及びその塩	0.1mg/m ³ (2006)	0.1mg/m ³ (2006)	—	9.6 x 10 ⁻² mg/m ³	9.6 x 10 ⁻³ mg/m ³	3.7 ppb (1.6 x 10 ⁻² mg/m ³)	硫酸含浸ガラス繊維ろ紙	高速液体 クロマトグラフ 紫外吸光度検出器
③1-クロロ-2-ニトロベンゼン	なし	なし	0.6 mg/m ³ (パラニトロクロロベンゼンの管理濃度)	2.4 x 10 ⁻² mg/m ³	2.4 x 10 ⁻³ mg/m ³	10 ppb (6.4 x 10 ⁻² mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
④2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン	なし	なし	0.6 mg/m ³ (パラニトロクロロベンゼンの管理濃度)	2.5 x 10 ⁻¹ mg/m ³	2.5 x 10 ⁻² mg/m ³	1.0 ppb (7.8 x 10 ⁻³ mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
⑤1,2-ジクロロプロパン	10 ppm (2007)	なし	—	0.35 ppm	0.035 ppm	50 ppb	活性炭管	溶媒脱着 ガスクロマトグラフ Hall型電気伝導度検出器
⑥ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	3 ppm (2005)	なし	—	8.3 ppb	0.83 ppb	4.3 ppb	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
⑦パラ-ニトロアニソール	なし	なし	0.5 mg/m ³ (パラアニシジンの許容濃度(日本産業衛生学会(2005))、 ACGIH-TWA(2005)) 0.2 mg/m ³ (ジニトロトルエン(混合物)の ACGIH(2007))	7.0 x 10 ⁻¹ mg/m ³	7.0 x 10 ⁻² mg/m ³	4.3 ppb (2.7 x 10 ⁻² mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
⑧1-ブロモ-3-クロロプロパン	なし	なし	10 ppm (1, 2-ジクロロエタンの管理濃度)	0.3 ppm	0.03 ppm	0.5 ppb	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID